



02

祈り

BASE Is Biblical And Solid Essentials  
PRAYER

*Introduction*

# 序論



“

今日、この世界で、  
偉大な人とは、  
祈る人のことである。  
祈りについて、  
話す人のことではない。  
祈りを説明できる人の  
ことでもない。  
時間を実際に使って、  
祈る人のことである。  
このような人も、  
時間は限られている。



“

他のことを犠牲にして、  
祈る時間を確保して  
いるのである。  
この「他のこと」も、  
大変重要で  
かつ緊急を要している。  
しかし、  
「祈る」ことほど、  
重要で緊急なことではない。

-Samuel Dickey Gordon

**実際に祈る者に  
導かれたい**

# AG EN DA

- 01
- 02
- 03
- 04

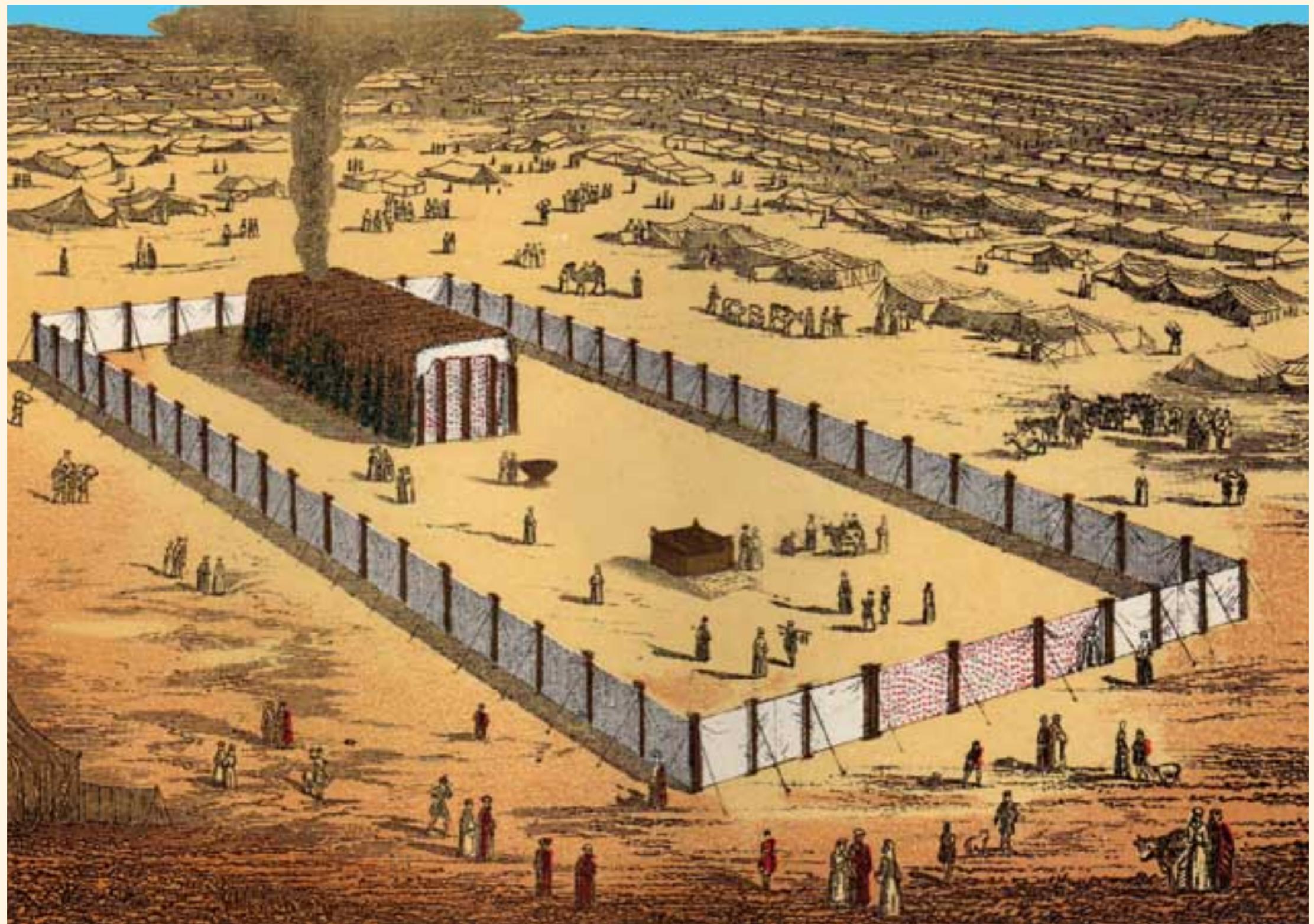
- 祈りの意味**
- 祈りによる変革**
- 祈りの基礎理解**
- 祈りの方法**

*Chapter 1*

# 祈りの意味

*Section 1-1*

# 金の香壇から学ぶ 祈りの意味



北

至聖所

西

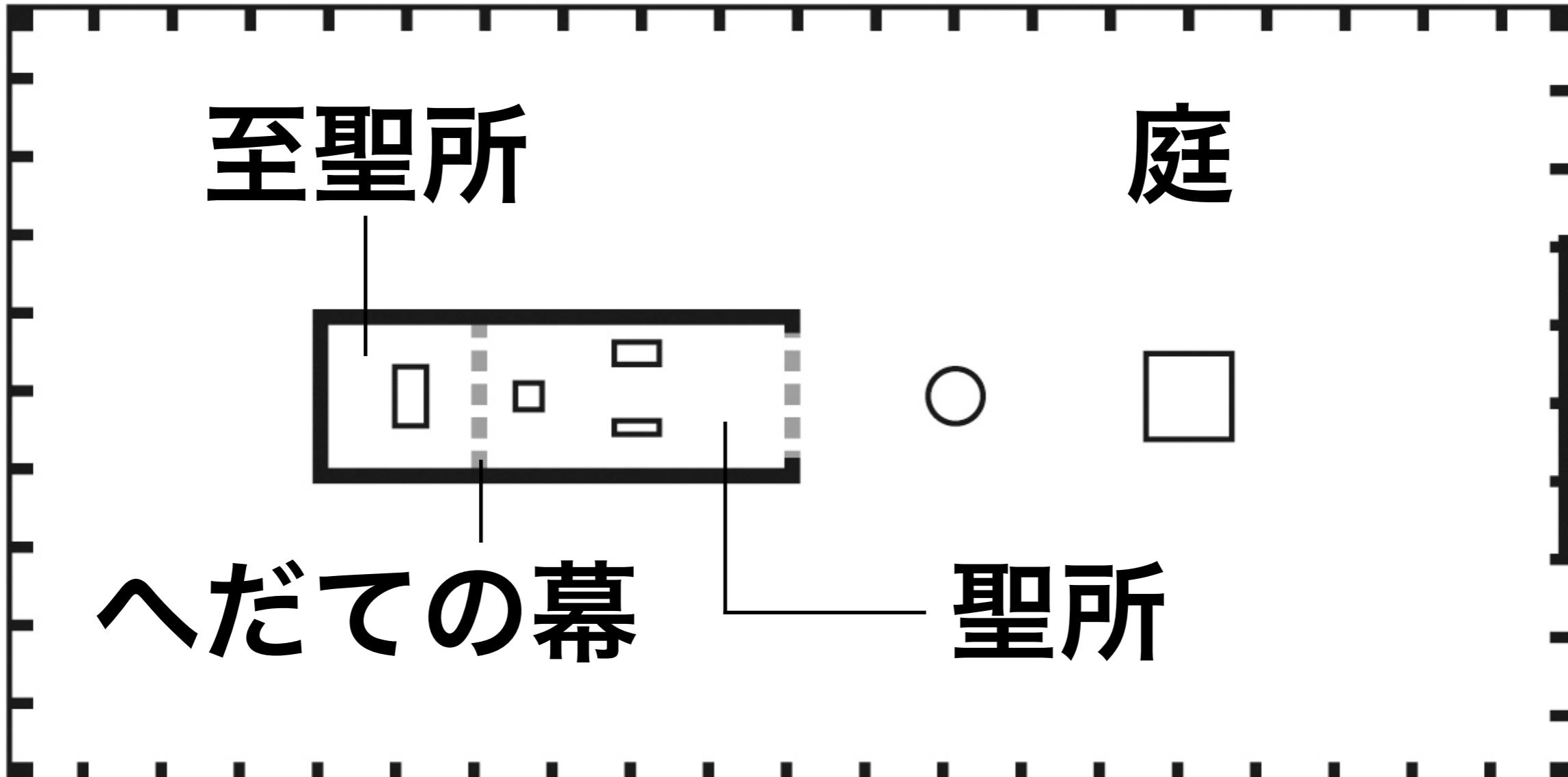
へだての幕

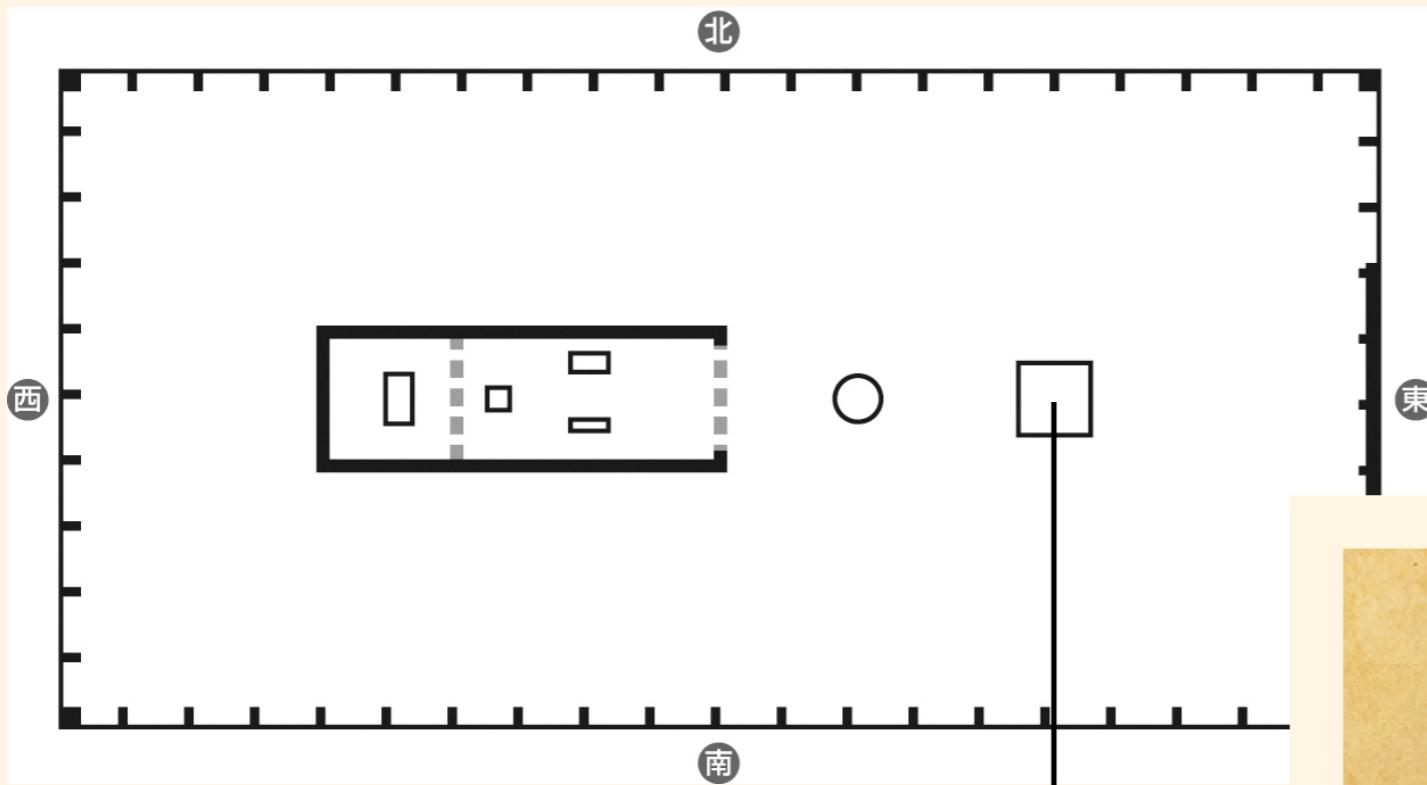
庭

東

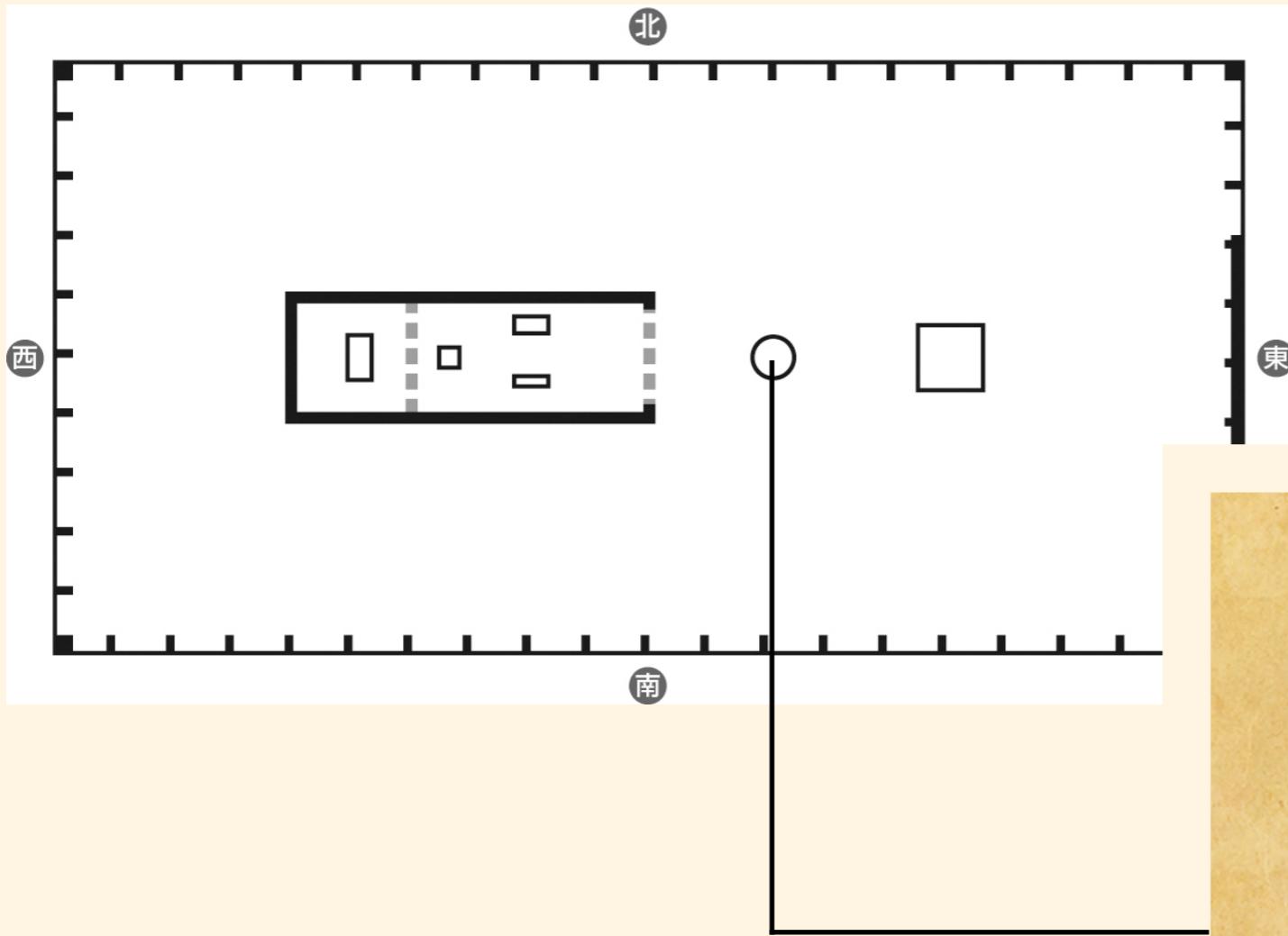
聖所

南

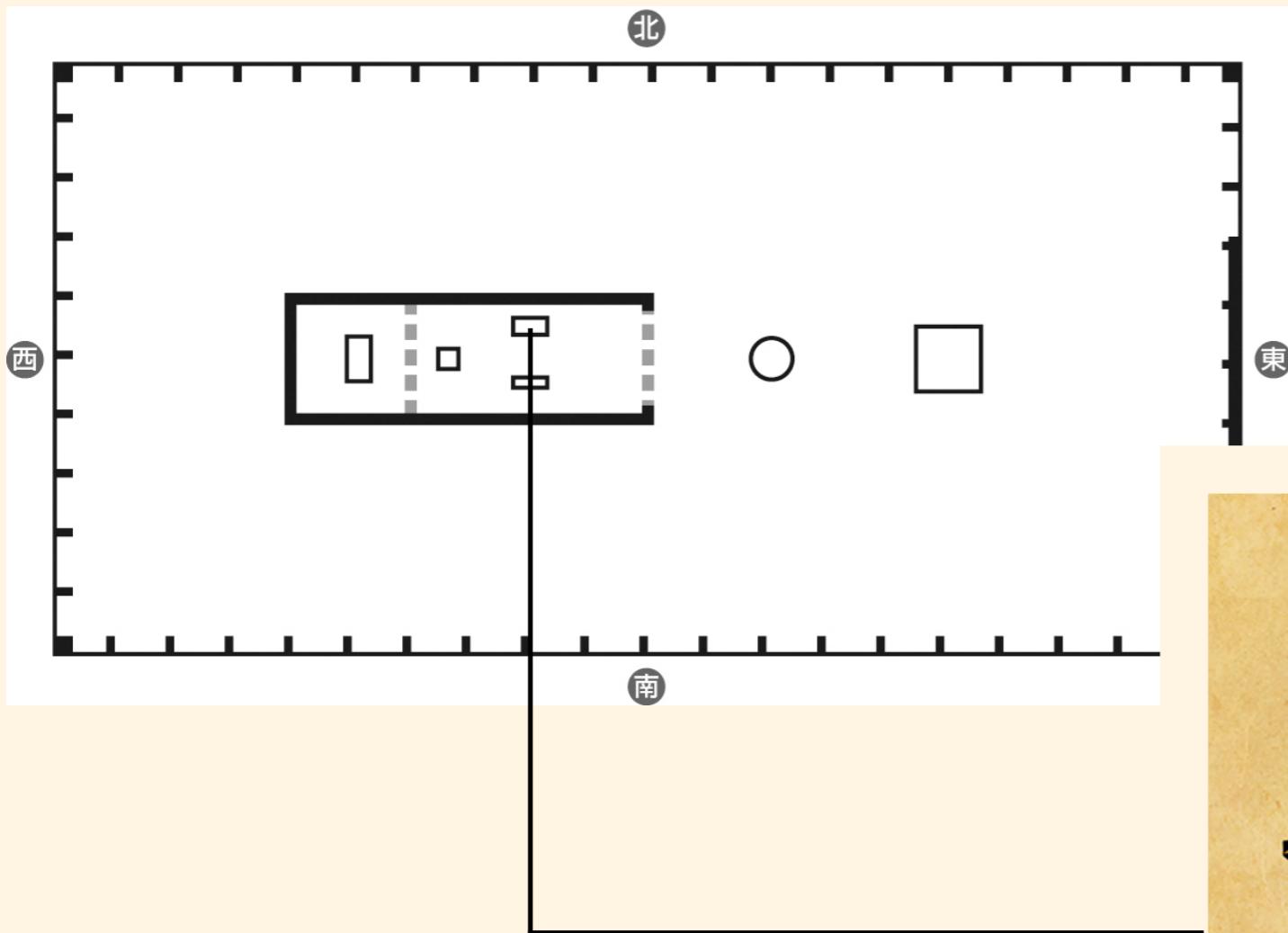




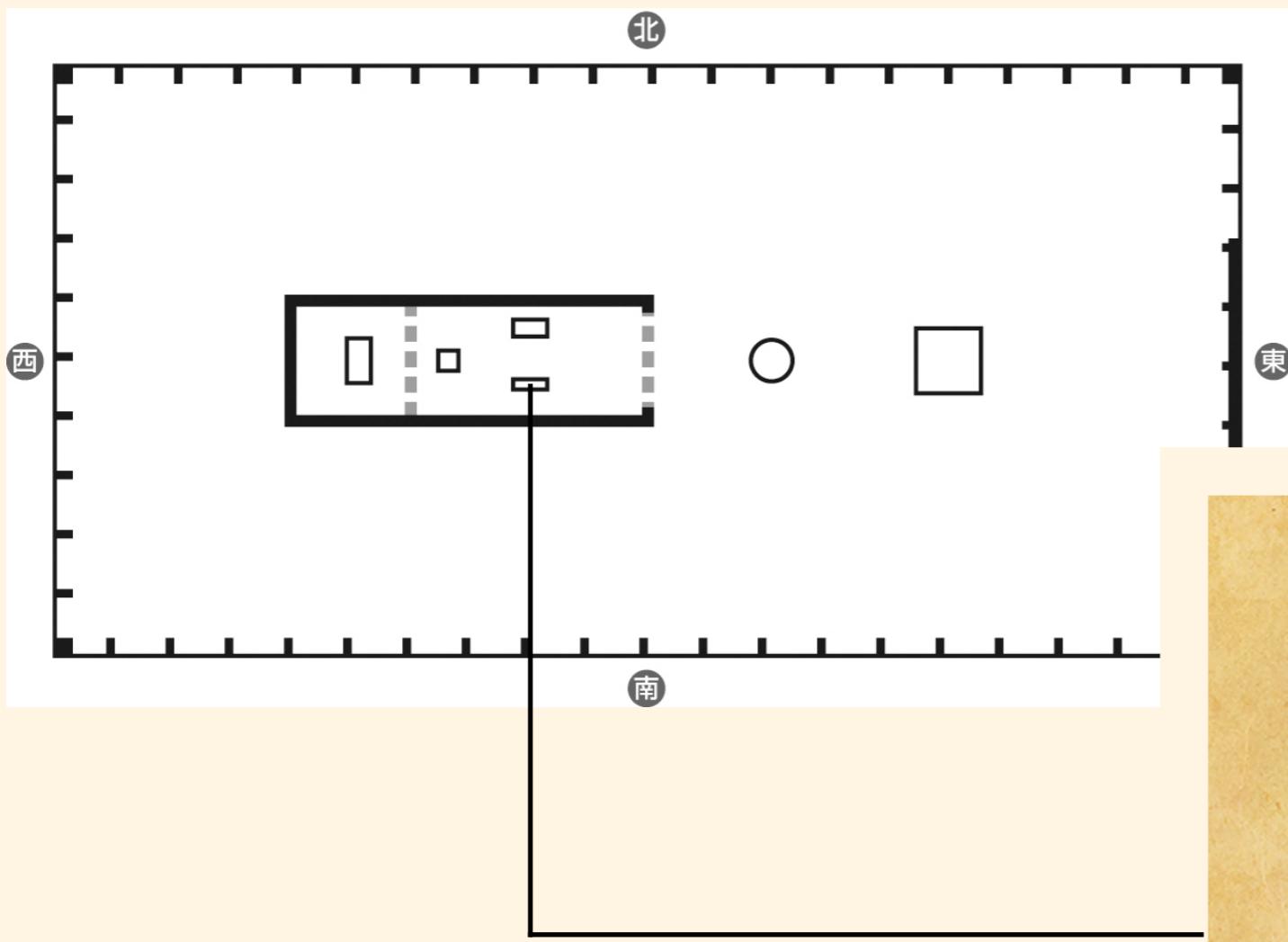
祭壇



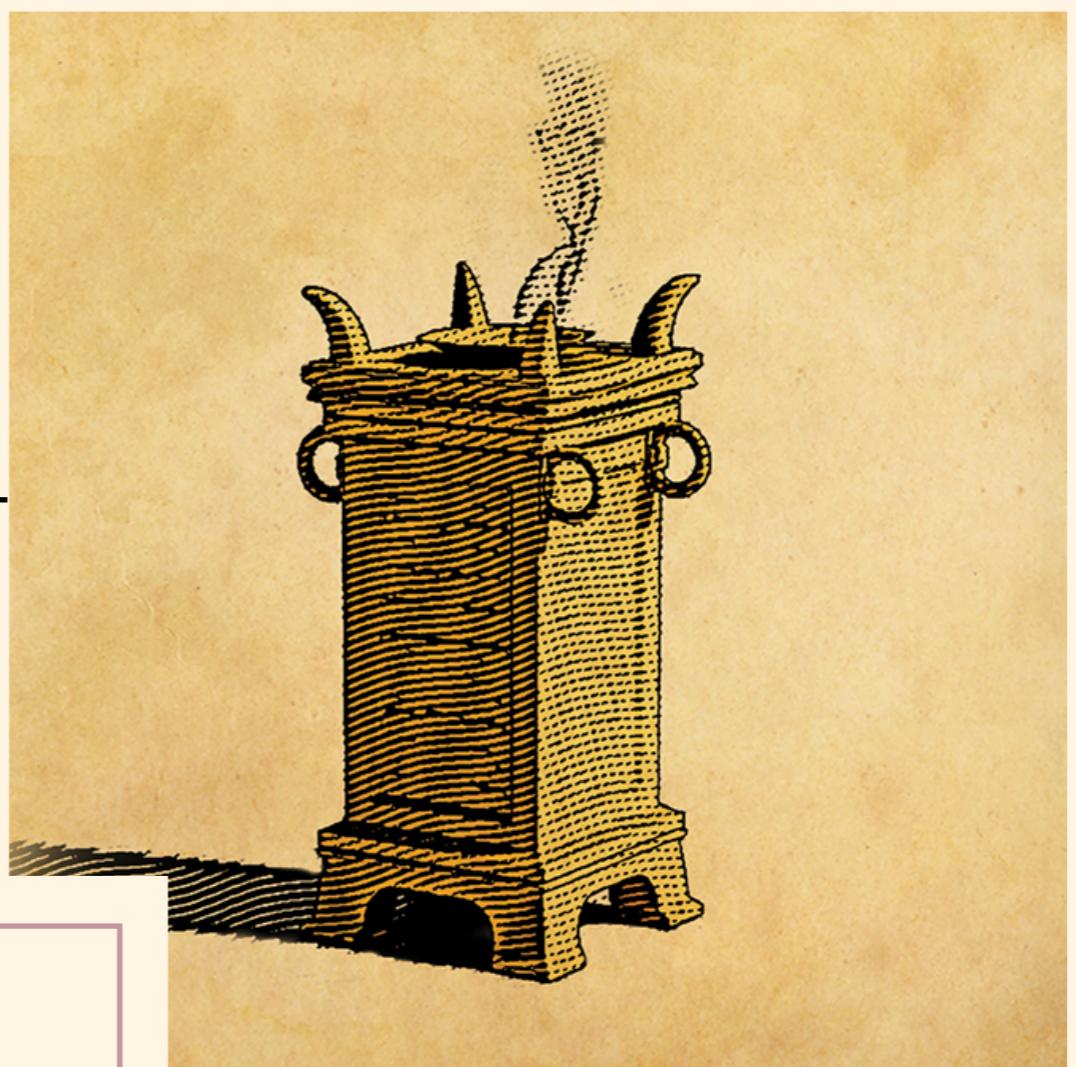
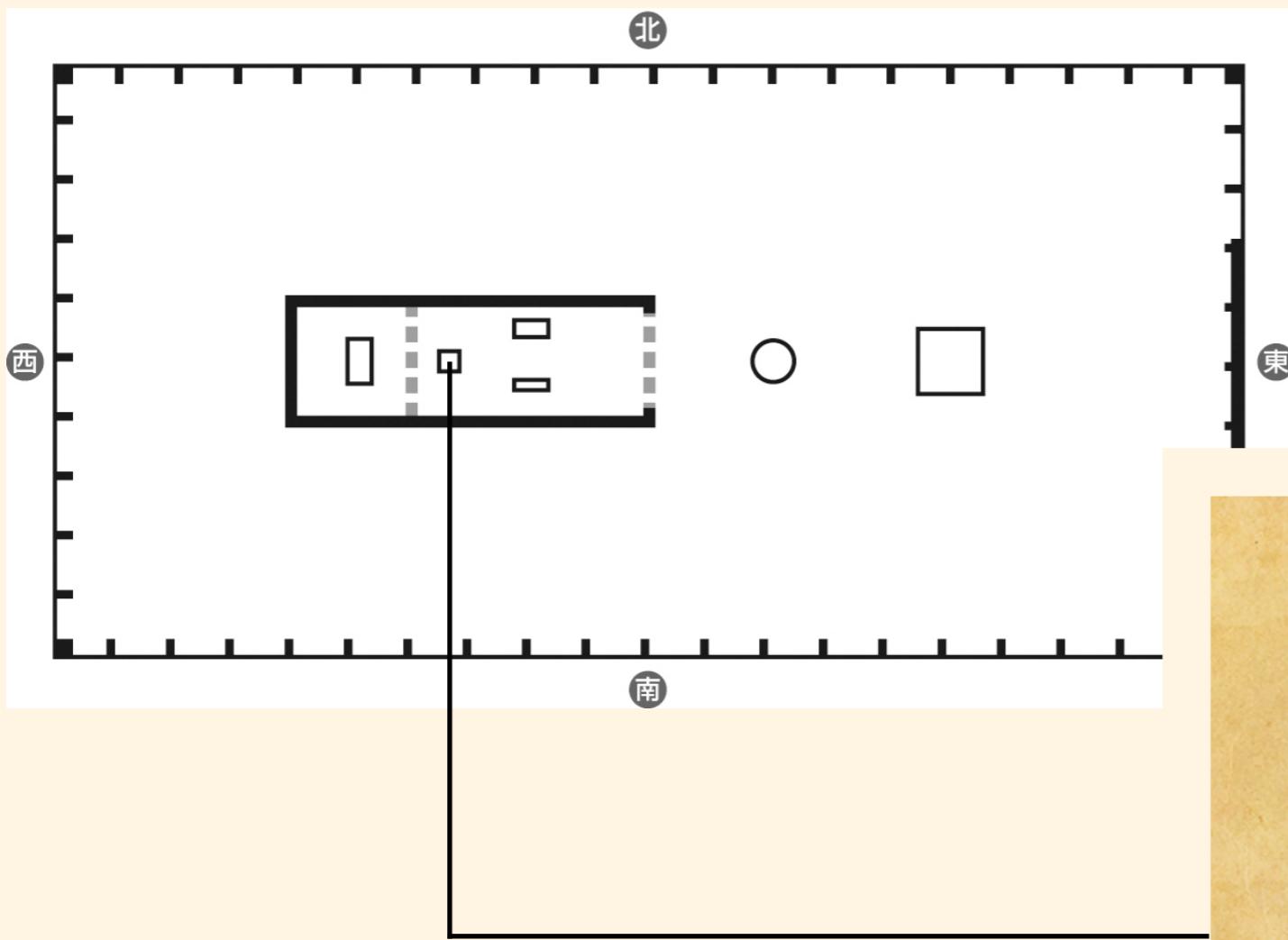
洗盤



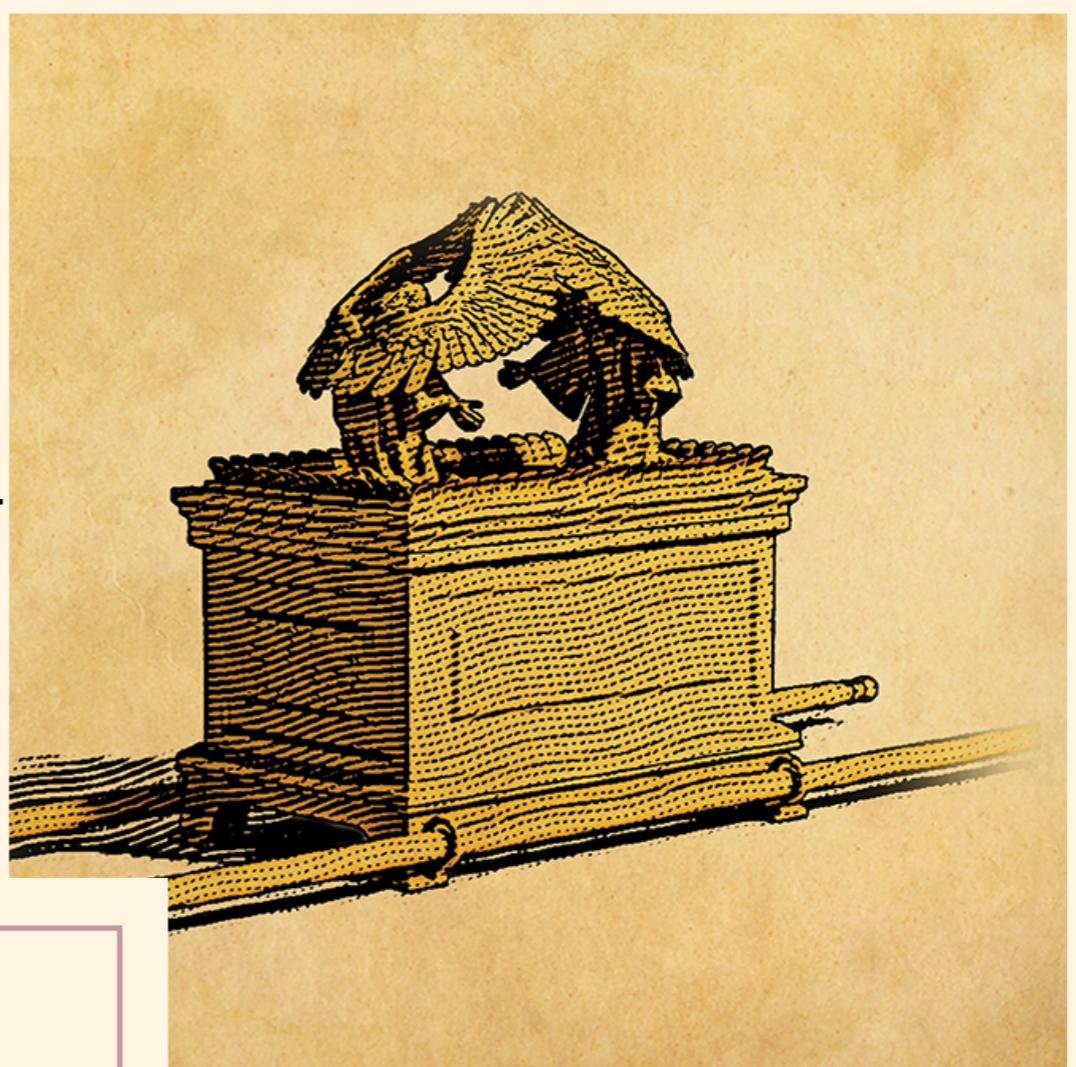
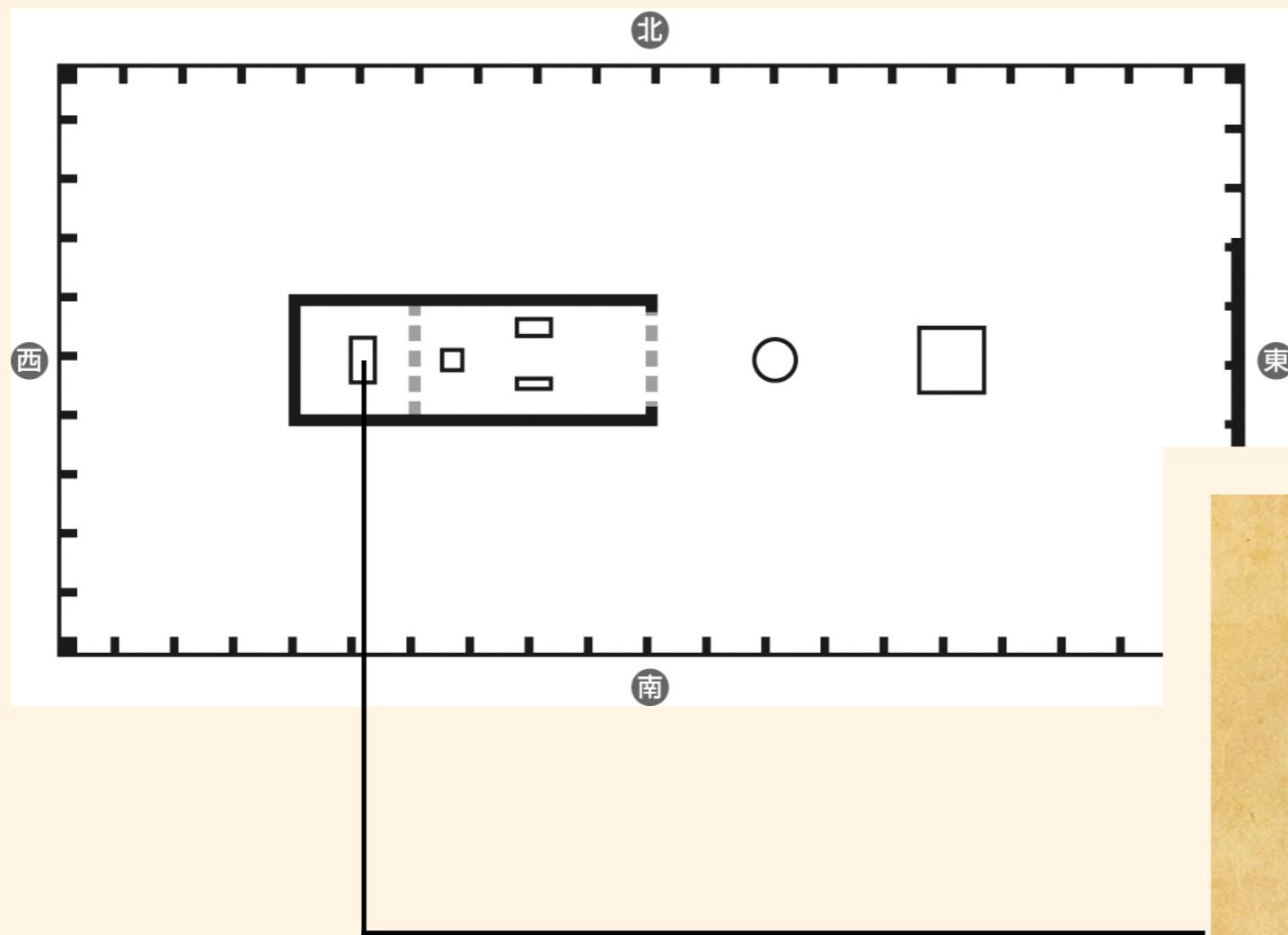
パンの机



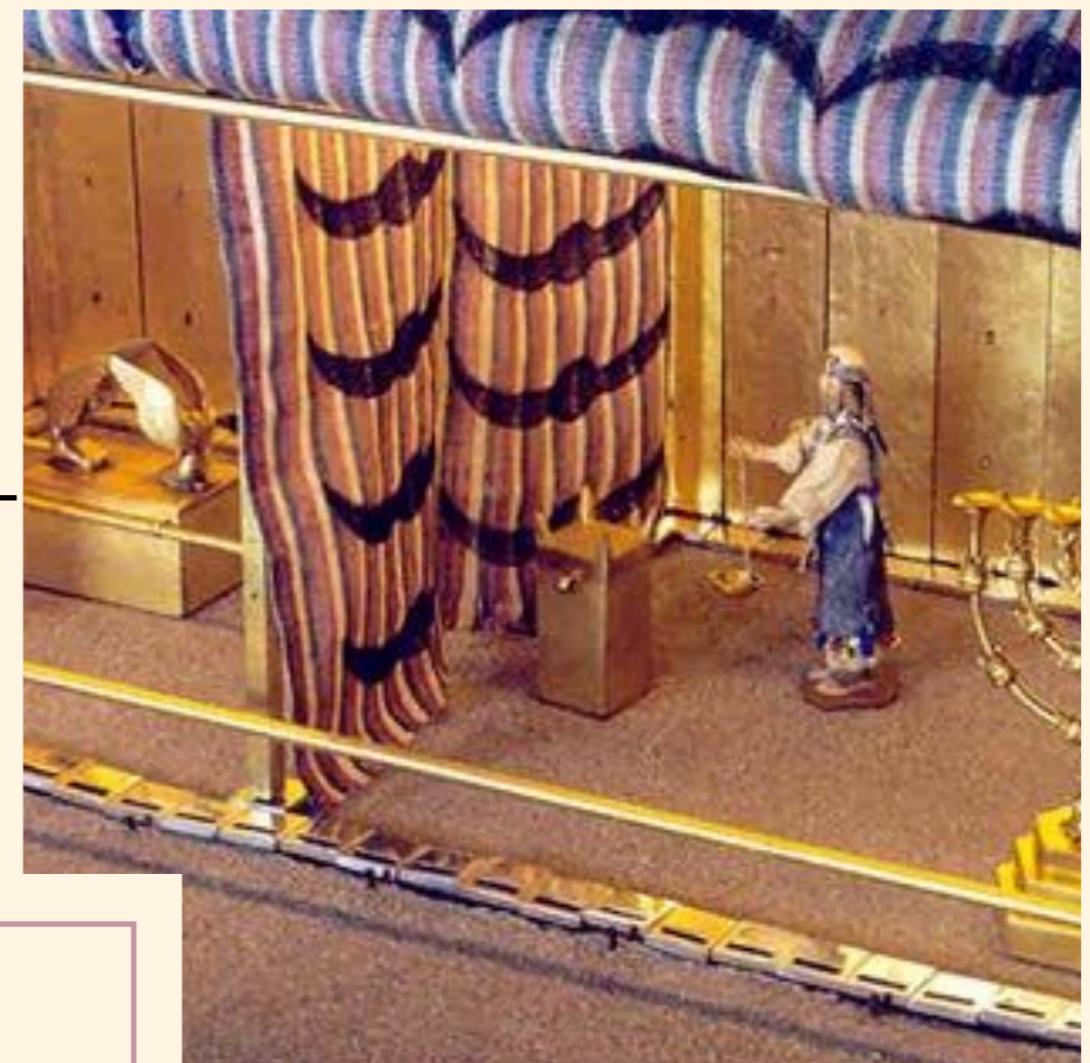
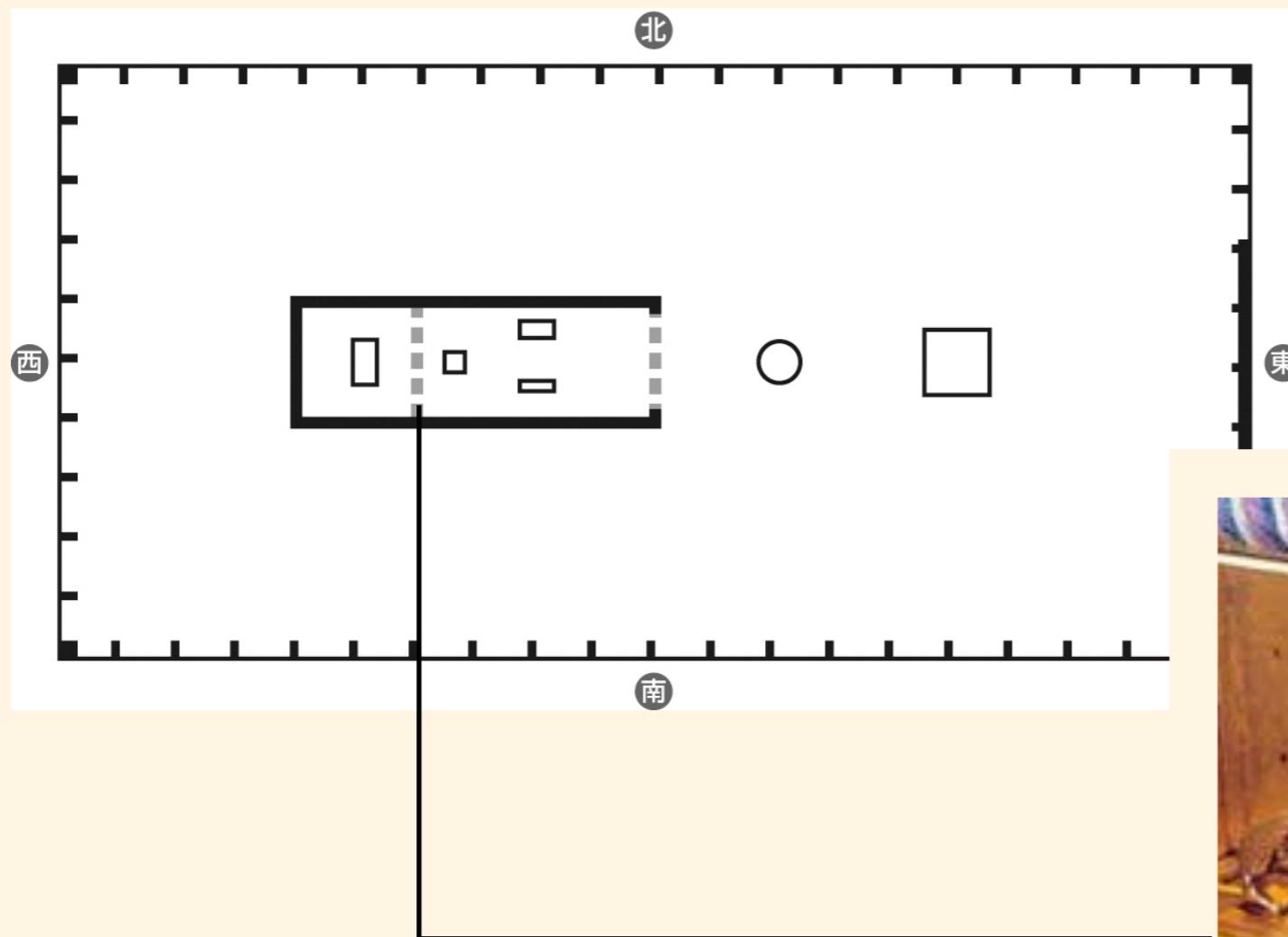
# 金の燭台



金の香壇



# 契約の箱



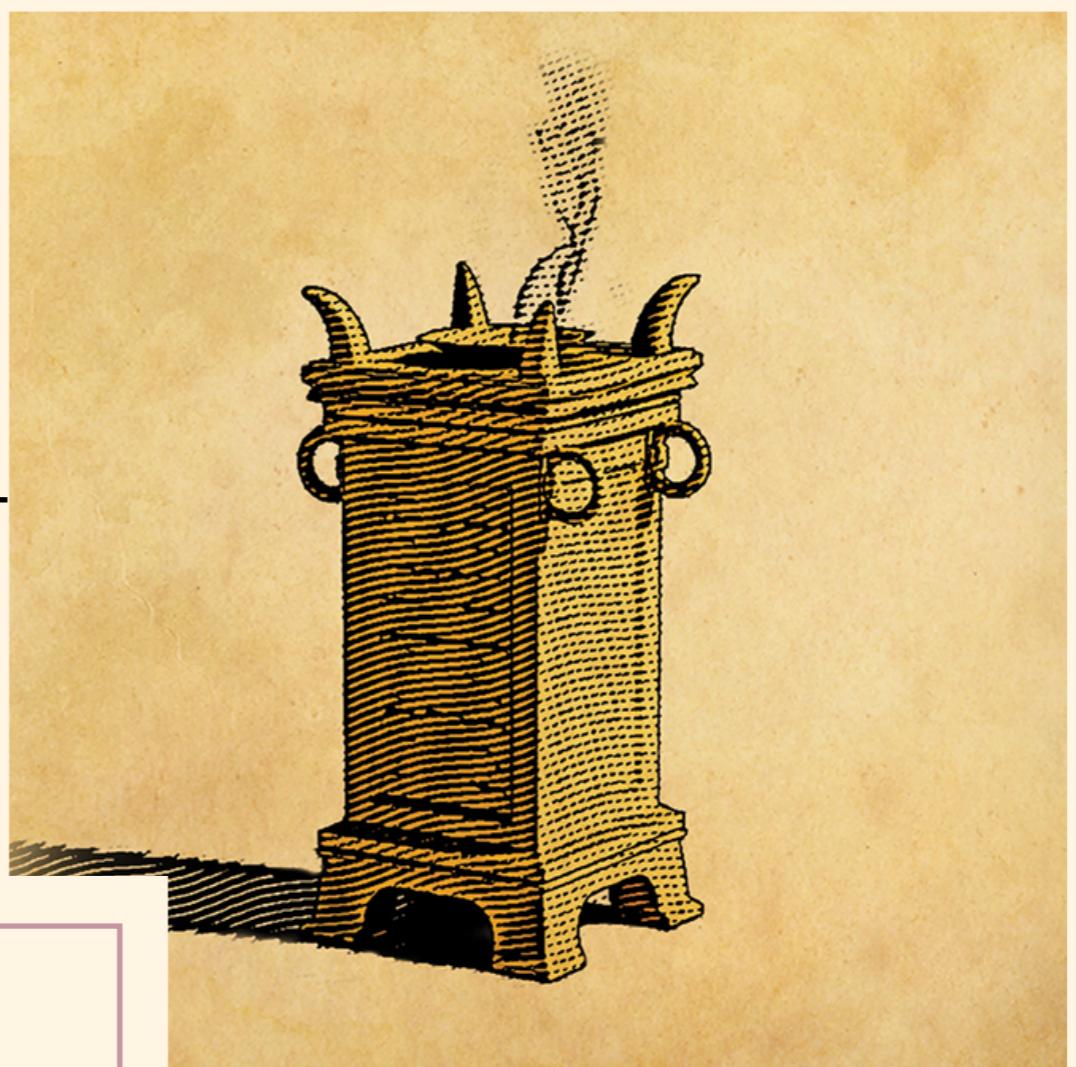
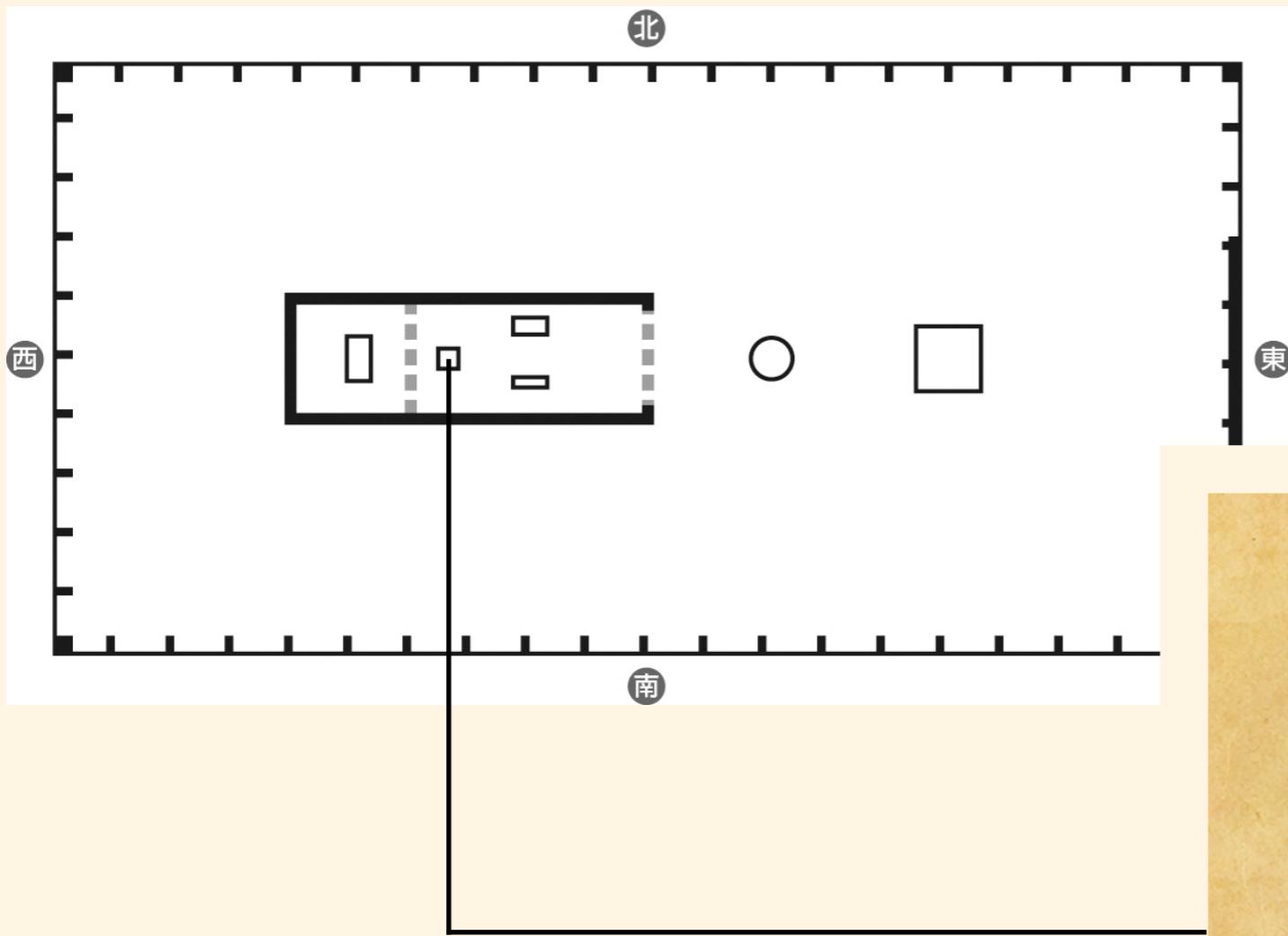
へだての幕

私の祈りが  
御前への香として  
手を上げる祈りが  
夕べのささげ物として  
立ち上りますように。

詩篇 141:2

香の煙は、  
聖徒たちの祈りとともに、  
使いの手から  
神の御前に立ち上った。

黙示録 8:4



# 金の香壇

神の臨在に  
最も近いものは  
祈り

*Section 1-2*

# 第1章のまとめ

祈りとは  
地上にいる人を  
天にいる  
神の思いに  
ふれさせるもの

*Chapter 2*

# 祈りによる変革

*Section 2-1*

# ハンナの例

エルカナには  
二人の妻がいた。  
一人の名はハンナといい、  
もう一人の名はペニンナといった。  
ペニンナには子がいたが、  
ハンナには子がいなかつた。  
彼女（ハンナ）に敵対するペニンナは、  
主がハンナの胎を閉じておられたことで、  
彼女をひどく苛立たせ、  
その怒りをかき立てた。

そのようなことが毎年行われ、  
ハンナが主の家に上って行くたびに、  
ペニンナは彼女の怒りを  
かき立てるのだった。  
こういうわけで、  
ハンナは泣いて、  
食事をしようともしなかった。



ハンナの心は痛んでいた。  
彼女は激しく泣いて、主に祈った。  
そして誓願を立てて言った。  
「万軍の主よ。  
もし、あなたが  
はしたための苦しみをご覧になり、  
私を心に留め、  
このはしたためを忘れず、  
男の子を下さるなら、  
私はその子を一生の間、  
主にお渡します。  
そしてその子の頭に  
かみそりを当てません。」

---

|サムエル 1:10-11

---

**自分の願い  
からの解放**

そのころ、  
イスラエルには王がなく、  
それぞれが  
自分の目に良いと  
見えることを  
行っていた。

士師記 21:25

人が  
「まず脂肪をすっかり焼いて、  
好きなだけお取りください」  
と言うと、祭司の子弟は、  
「いや、今渡すのだ。  
でなければ、私は力づくで取る」  
と言った。  
このように、子弟たちの罪は、  
主の前で非常に大きかった。  
この人たちは主へのささげ物を  
侮ったのである。  
(中略)

さて、エリは  
たいへん年をとっていたが、  
息子たちが  
イスラエル全体に  
行っていることの一部始終を、  
それに彼らが  
会見の天幕の入り口で  
仕えている女たちと  
寝ていることを  
聞いていた。

(中略)

|サムエル 2:16-17,22,24

息子たちよ、  
そういうことをしてはいけない。  
私は主の民が  
言いふらしている  
うわさを聞くが、  
それは良いものではない。

|サムエル 2:16-17,22,24

男の子を下さるなら、  
私はその子を一生の間、  
主にお渡しします。  
そしてその子の頭に  
かみそりを当てません。

|サムエル 1:11

## ハンナの祈り

1

男の子を与えて欲しい

2

子どもをナジル人  
としてささげる

**サムソンを  
意識した祈り**

さて、ダンの氏族に属する  
ツォルア出身の一人の人がいて、  
名をマノアといった。  
彼の妻は不妊で、  
子を産んだことがなかった。  
主の使いがその女に現れて、  
彼女に言った。  
「見よ。  
あなたは不妊で、  
子を産んだことがない。」

士師記 13:2-3,5

しかし、  
あなたは身ごもって男の子を産む。  
(中略)  
見よ。  
あなたは身ごもって男の子を産む。  
その子の頭にかみそりを  
当ててはならない。  
その子は胎内にいるときから、  
神に獻げられたナジル人だから。  
彼はイスラエルを  
ペリシテ人の手から救い始める。」

士師記 13:2-3,5

# ハンナの祈り

1 神の性質（1サム2:1-3）

2 神の原則（1サム2:4-8）

3 神の御業（1サム2:9-10）

ハンナの祈りは  
マリアに  
影響を与えている

# マリアの祈り

1 神の性質 (ルカ1:47-50)

2 神の原則 (ルカ1:51-53)

3 神の御業 (ルカ1:54-55)

# サムエル記

*Start*  
**ハンナの祈りで始まり**

**ダビデの祈りで閉じる**

悩める女性の祈りが  
イスラエル  
黄金時代の出発点

**まず自分から**

“

何の束縛もない若かりし頃、  
想像は果てしなく広がり、  
私は世界を変えることを  
夢見ていた。

ところが、  
歳を重ね賢くなり、  
世界は変わらない  
ことに気づいた。

“  
そこで、  
目指すものを  
もう少し近いものにして、  
自分の国から  
始めることにした。

だが自分の国も  
変わらなかつた。

“

老年期に入り、  
私の願いは悲痛な思いに  
変わった。

自分の国もだめなら、  
少なくとも、  
最も近くにいる  
家族を変えることにした。

“

だが、  
悲しいことに、  
これすらままならなかつた。

今、私は死の床についている。  
なんと、  
今になって  
初めてわかつたのだ。

変えなければいけないのは、  
自分自身だったのだと。

自分が変われば、  
家族も変わっただろう。

そして家族に励まされ  
支えられることで、  
国をよくすることも  
できただろうし、  
やがては  
世界を変えることすら  
できたかもしれなかつたのだ。

-Unknown Author



“

自分の心の中を  
一回見るごとに、  
十回は  
キリストを見よ。

-Robert Murray M'Cheyne

*Section 2-2*

# 第2章のまとめ

祈ることで神の  
お取り扱いを受け  
変えられる経験を  
することができる

*Chapter 3*

# 祈りの基礎理解

*Section 3-1*

**祈りを受ける方を  
理解する**

わたしの名によって  
父に求めるものは何でも、  
父はあなたがたに  
与えてくださいます。

ヨハネ 16:23

ステパノは  
主を呼んで言った。  
「主イエスよ、  
私の靈を  
お受けください。」

使徒 7:59

基本的には  
御父に向かって  
祈る

あなたがたが、  
わたしの名によって  
何かをわたしに求めるなら、  
わたしがそれをしてあげます。

ヨハネ 14:14

御子の  
御名によって  
祈る

御靈は  
祈る対象ではない

私たちは、  
何をどう祈ったらよいか  
分からぬのですが、  
御靈ご自身が、  
ことばにならない  
うめきをもって、  
とりなしてくださいるのです。

聖靈によって  
祈りなさない。

ユダ 20

御靈によって、  
私たちは  
「アバ、父」  
と呼びます。

ローマ 8:15

御靈は  
人を祈りに  
導く御方

御靈により  
御子の名によって  
御父に祈る

*Section 3-2*

公の祈りは  
秩序をもって

それでは、  
どうすればよいのでしょうか。  
私は靈で祈り、  
知性でも祈りましょう。  
靈で贊美し、  
知性でも贊美しましょう。  
そうでないと、  
あなたが靈において  
贊美しても、  
初心者の席に着いている人は、

あなたの感謝について、  
どうしてアーメンと  
言えるでしょう。  
あなたが言っていることが  
分からぬのですから。  
あなたが感謝するのは  
けっこうですが、  
そのことでほかの人が  
育てられるわけでは  
ありません。

他者が  
理解できる  
ように祈る

*Section 3-3*

**祈りの答えられ方を  
決めつけない**

# 神さまの 救命ボート







その啓示のすばらしさのため  
高慢にならないように、  
私は肉体に一つのとげを  
与えられました。  
それは私が高慢にならないように、  
私を打つためのサタンの使いです。  
この使いについて、  
私から去らせてくださいるようにと、  
私は三度、  
主に願いました。

しかし主は、  
「わたしの恵みは  
あなたに十分である。  
わたしの力は  
弱さのうちに  
完全に現れる  
からである」  
と言われました。

*Section 3-4*

# 第3章のまとめ

祈りには  
基本的に  
理解しておくと良い  
ポイントがある

*Chapter 4*

# 祈りの方法

*Section 4-1*

# 析る背景

あらゆる祈りと願いによって、  
どんなときにも  
御靈によって祈りなさい。  
そのために、目を覚ましていて、  
すべての聖徒のために、  
忍耐の限りを尽くして祈りなさい。  
また、私のためにも、  
私が口を開くときに  
語るべきことばが与えられて、

福音の奥義を  
大胆に知らせることが  
できるように、  
祈ってください。  
私はこの福音のために、  
鎖につながれながらも  
使節の務めを果たしています。  
宣べ伝える際、  
語るべきことを  
大胆に語れるように、  
祈ってください。

エペソ 6:18-20



“

新約中、  
祈りについての  
最も重要とも  
言える箇所。

-Alexander Strauch

私たちの格闘は  
血肉に対するものではなく、  
支配、力、  
この暗闇の世界の  
支配者たち、  
また天上にいる  
もろもろの悪霊に  
対するものです。

エペソ 6:12

# 神の武具

1 真理の帯

2 正義の胸当て

3 平和の福音の備え

4 信仰の盾

5 救いのかぶと

6 御靈の剣

**神の武具を  
身に着けるとは**

**生活の様々な状況に  
応じてみことばを  
適用すること**

神の武具を身に着けることについて



エペソ6:17

エペソ6:18

祈ることについて



みことばの適用と  
祈りは不可分



“

みことばだけを  
知っていて祈らないのは、  
病的な生活である。

-Andrew Murray

祈る背景に  
あるのは  
靈的な戦い

*Section 4-2*

いつも  
御靈によって  
祈る

どんなときにも  
御靈によって祈りなさい。

エペソ 6:18



**心からの  
祈りをする**

また、祈るとき  
偽善者たちのようであっては  
いけません。

彼らは  
人々に見えるように、  
会堂や大通りの角に立って  
祈るのが好きだからです。

また、祈るとき、  
異邦人のように、  
同じことばをただ繰り返しては  
いけません。

# 心からではない祈り



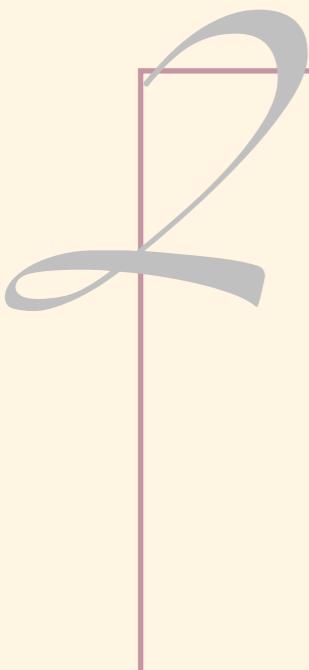
# 偽善的・儀式的な祈り

# 心からの祈り

## 虚栄のない素直な祈り

上からの知恵は、  
まず第一に清いものです。  
それから、平和で、  
優しく、協調性があり、  
あわれみと良い實に満ち、  
偏見がなく、  
偽善もありません。

ヤコブ 3:17



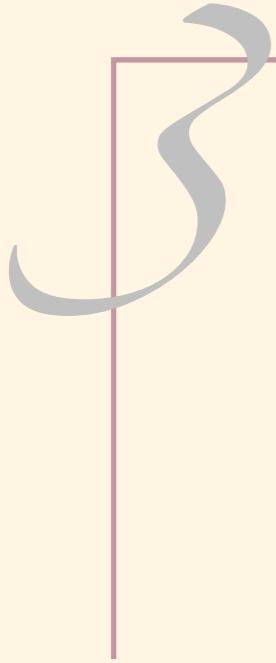
みことばに  
基づいた  
祈りをする

聖書はすべて  
神の靈感によるもの

IIテモテ 3:16

# 聖書

聖靈の導きによって  
記された



とりなしの  
祈りをする

御靈は  
神のみこころにしたがって、  
聖徒たちのために  
とりなしてくださいからです。

ローマ 8:27

**とりなしの思い**

**御靈の思い**

*Section 4-3*

いつも  
祈る心をもつ

どんなときにも  
(中略)  
目を覚ましていて、  
(中略)  
祈りなさい。

エペソ 6:18

絶えず祈りなさい。

|テサロニケ 5:17

ひたすら祈りなさい。

ローマ 12:12

いつでも祈るべきで、  
失望しては  
いけないことを  
教えるために、  
イエスは弟子たちに  
たとえを話された。

ルカ 18:1

文字通りいつでも祈る

絶えず祈る

# 定期的に祈る



# 絶えず祈る

*Section 4-4*

いつも  
全ての聖徒のために  
祈る

どんなときにも  
(中略)  
すべての  
聖徒のために、  
(中略)  
祈りなさい。

エペソ 6:18

# 情報を知る

# より意味のある祈り

私（ネヘミヤ）の  
兄弟の一人ハナニが、  
ユダから来た数人の者と  
一緒にやって来た。

私は、  
捕囚されずに残された  
逃れの者である  
ユダヤ人たちについて、  
またエルサレムのことについて、  
彼らに尋ねた。

# ネヘミヤ

## 情報を調査した

ネヘミヤ記は  
祈りで始まり  
祈りで終わっている



“

一日に何人かを決めて、  
その家族、  
子どものために祈る。  
もし全ての聖徒のために  
祈っていないなら、  
神のことばへの従順に  
欠けることになる。  
集会が貧しい集まりになる。



“

もし自分の集会が、  
自分の祈りにかかっている  
としたら、  
どう考えるだろうか。  
これは  
真剣な問いかけ。  
全ての聖徒のために  
祈るやり方は  
どのような方法だろうか。

-Alexander Strauch



“

祈る時、我々は起きている。  
祈らないキリスト者は  
寝ているのであり、  
寝ているのであれば  
何も見ていないことになる。  
戦時下でパトロールに行くとき、  
よく目を凝らして  
見張らなければいけない。  
敵に攻め込まれれば  
愛する者が  
ひどい目にあってしまう。  
祈るということは、  
見ているということ。

-Alexander Strauch

*Section 4-5*

いつも  
祈りにおいて  
創造的であるべき

どんなときにも  
(中略)  
忍耐の限りを  
尽くして  
祈りなさい。

エペソ 6:18

# 祈りの形

公的	個人的
沈黙	発声
着座	立位
跪く	横たわる
手を挙げる	手を組む
目を閉じる	目を開ける
頭を上げる	頭を下げる
ひとり	複数



“

心に様々な惑わしがあるので、  
祈りに集中することは困難。

-Martin Luther



“

その日にやるべきことが  
頭に思い浮かび、  
祈りに集中することは難しい。

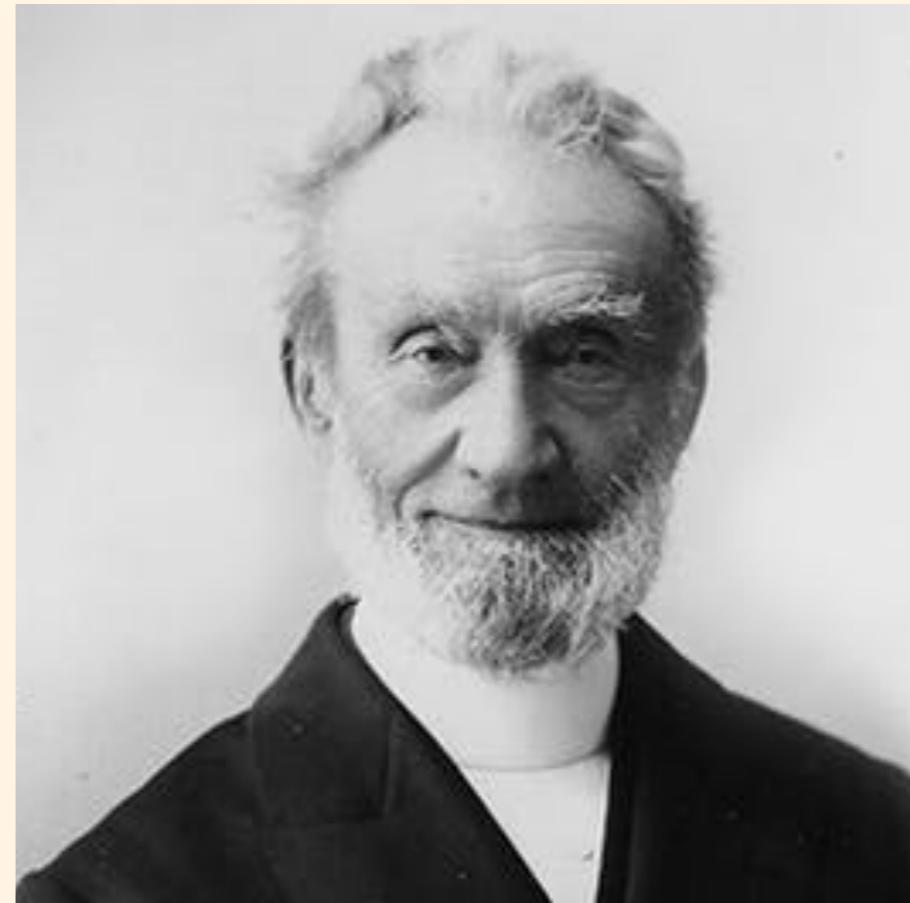
-James Hudson Taylor



---

**Frederic Fyvie Bruce**

---



---

**George Mueller**

---

*Section 4-6*

いつも  
宣教師や  
伝道者のために  
祈る

また、私のためにも、  
私が口を開くときに  
語るべきことばが与えられて、  
福音の奥義を  
大胆に知らせることができるように、  
祈ってください。  
私はこの福音のために、  
鎖につながれながらも使節の務めを  
果たしています。  
宣べ伝える際、  
語るべきことを大胆に語れるように、  
祈ってください。

## パウロの祈りのリクエスト

1

語るべきことばが  
与えられるように

2

どんな状況でも語る  
ことができるよう

*Section 4-7*

# 第4章のまとめ

祈りを  
豊かにするための  
多様な  
取り組みがある

*Whole Summary*

# 全体まとめ

*Summary Of Introduction*

# 序論のまとめ

祈りを主から  
教えられたい

*Chapter 1 Summary*

# 第1章 祈りの意味 のまとめ

祈りによって  
神に近づくことが  
できる

*Chapter 2 Summary*

# 第2章 祈りによる変革 のまとめ

**祈ることで  
人は変えられる**

*Chapter 3 Summary*

# 第3章 祈りの基礎理解 のまとめ

祈りの  
基本理解は重要

*Chapter 4 Summary*

# 第4章 祈りの方法 のまとめ

**祈りには  
試行錯誤が必要**

**EOF**

- 参考資料

アンドリュー・マーレー『とりなしの祈り』いのちのことば社、1961年  
ルイス・スペリー・シェイファー『聖書の主要教理』聖書図書刊行会、1985年  
ヘンリー・シーセン『組織神学』聖書図書刊行会、1961年  
アルバート・マクシェーン『サムエル記』伝道出版社、1997年

- 改版履歴

---

2015年2月 初版  
2015年3月 改版  
2016年4月 改版  
2016年7月 改版  
2016年8月 改版  
2016年11月 改版  
2019年9月 改版  
2019年11月 改版  
2019年12月 改版  
2020年1月 改版  
2020年2月 改版  
2020年3月 改版  
2020年9月 改版  
2020年10月 改版

---